

# 1. 調査報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270500549		
法人名	社会福祉法人青森民友厚生振興団		
事業所名	青山荘グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒037-0011 青森県五所川原市金山字盛山42番地8 (電話) 0173-35-4252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年11月21日	評価確定日	平成22年3月10日

## 【情報提供票より】(平成21年10月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算	6.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要( 10月 25日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	86.6 歳	最低	74 歳
		最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤内科小児科医院、布施病院(精神科)、成田歯科、桂整形外科
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>五所川原市の郊外に位置し、周囲をりんご園に囲まれ、近くには津軽金山焼きの窯元がある。開放的なオープンキッチンでは、利用者と職員と一緒に食事の準備をしながら楽しい会話が弾んでいる。また、天然温泉が引かれ、檜風呂との組み合わせが風情を醸し出し、いつでも入浴可能な状態となっている。各居室も広く、洗面所やトイレが設置されている。ゆったりとした雰囲気と環境の中で、利用者と職員は馴染みの関係ができています。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有についてが改善課題となっていたが、重度化・終末に関する指針を作成し、入居時の説明及び、利用者・家族の心身の状況変化に応じた話し合いを持ち、方向性・ケアの統一に向けた取り組みがされている。さらに運営推進会議においても関係者に説明し情報の共有を図っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ全員で自己評価に取り組む事で、今期入職者からの新鮮な意見・気づきも得られている。又、外部評価での改善項目に関しての検討も行われ、速やかな対策が講じられている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催されている。活発な意見交換がされており、今年度からは、利用者への影響も考慮しながらホーム内で開催している。日常の生活を肌で感じながら、日々のケアや食事の場面等も確認してもらい、アドバイスを受けるという工夫がされている。職員の思いとして、会議の参加者に十分伝わっているのかという疑問から出たものであり、サービス質の向上を目指す姿勢が伺える。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族には面会時に声をかけ、意見の抽出に努めており、面会後には、利用者との会話の中から思いを汲み取る努力がされている。運営推進会議においても、家族の出席があり、ケアの内容・事業所運営にも反映されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会への加入・行事参加・訪問の受け入れ等、積極的な交流が図られている。地域の収穫祭には利用者の手芸作品や野菜の出品がされている。日常的にも、収穫物の提供や散歩中の挨拶等が自然にかかわされ、地域の一員として位置づけられている。運営推進会議では、認知症に関する質問や、介護サービスの情報提供等も行われている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	毎年、状況に応じて作り直しがされているが、根本には、運営方針を基本とし、地域生活の継続性を重要視した利用者本意の理念が構築されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及びスタッフ全員で理念を共有すべく、日々確認する機会を設けている。又、理念を基にしたケアが提供されているか振り返りがされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会への加入、行事への参加、訪問の受け入れ等、積極的な交流が図られている。地域の収穫祭には利用者の手芸作品や野菜が出品されている。日常的にも、収穫物の提供や散歩中の挨拶等が自然にかわされ、地域の一員として位置づけられている。運営推進会議では、認知症に関するの質問や、介護サービスの情報提供等も行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ全員で自己評価に取り組む事で、今期入職者からの新鮮な意見や気づきも得られている。又、外部評価での改善項目についての検討も行われ、速やかな対策が講じられている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催されている。今年度からは、利用者への影響も考慮しながらホーム内で実施し、日々のケアや食事の場面等も確認してもらい、アドバイスを受けるという工夫がされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、市が主催するグループホーム協会の研修参加や、ケアの課題を共有し、適宜連絡し合い、相互関係の構築に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、制度を活用している利用者はいないが、必要性の理解は出来ている。内容把握の為、研修への参加やスタッフへの資料回覧等、前向きな取り組みがされている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>月1回開催される法人の委員会への参加、アンケート調査等、虐待防止に関する十分な理解と対策が講じられ、法人全体で取り組んでいる。日々のケアにおいて、身体的・精神的、両面からの振り返りがされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>三者契約書・重要事項説明書等の書類を基に、入退居、重度化時に関する説明をし、利用者や家族のケア内容の十分な理解に努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>基本的には面会時や3ヶ月毎のホーム便り等での書類の送付と、家族の状況、希望に沿った報告の手段で対応がされているが、特変時や受診後は電話連絡を行い、家族が安心して頂けるよう努めている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族には面会時に声を掛け、意見の抽出に努めており、面会后には、利用者との会話の中から思いを汲み取る努力がされている。運営推進会議においても、家族の出席があり、ケアの内容や事業所運営にも反映されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>適材適所という法人の方針もあるが、利用者への配慮がされ、異動は最小限にしている。又、異動がある場合でも、引き継ぎ期間を十分に設け、利用者、家族との良好な関係が築けるよう取り組みがされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画は無いが、法人内や外部の研修へ参加し報告がされている。研修に参加出来ないスタッフへも、管理者を中心にOJTが実践され、スキルアップに努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修等で交流を持った同業者と連携、連絡を取り合うことで、情報交換、ケアの向上やネットワーク作りに努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者に関しては家族も含め、ホーム内の見学や、時間を共有する事で、雰囲気を感じて頂くよう取り組んでいる。法人の居宅サービス利用者の入居申し込みが多い為、折に触れ交流を図り、安心して入居出来るように配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的なアプローチではなく、利用者の「思い」を尊重し意思に沿えるような対応がされ、双関係・信頼関係の構築に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>面会時の家族からの聞き取り、センター方式の活用及び利用者の言動や行動を受容し、利用者本位のケアの提供に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月定期的なカンファレンスが開催され、計画担当者、他スタッフ、本人、家族の話し合いにて、その人らしい介護計画が作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンス開催以外にも、見直しを要する状態になった場合は、速やかに利用者の現状に即した介護計画作成を行い、カンファレンスを開催している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>日常的な買い物や外出支援の他に、利用者や家族の意向、要望に応じ、受診の付き添いや社会資源の利用等の支援と、多岐に渡り対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	嘱託の医療機関だけでなく、入居前からのかかりつけ医の継続や、家族が希望する医療機関の受診等柔軟な支援をしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末に関する指針を作成し、入居時の説明及び、利用者・家族の心身の状況変化に応じた話し合いを持ち、方向性・ケアの統一に向けた取り組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関しては、契約時に説明し、了承を得ており、状況によっては適宜再確認している。馴染みの関係が馴れ合いにならないよう、日常的な振り返りをし、尊厳が保たれるよう努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の天候や利用者の意向を組み取り、4日に1回の買い物を始め、畑での野菜作りや手芸、ドライブ等の提供がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>便宜性の良いアイランド型キッチンが設置され、利用者の能力に応じて、味見・食材の下ごしらえ・後片付け等が自然に、又、楽しそうに行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>午後から夕食前を中心に、週3回の入浴提供が基本であるが、天然温泉が引かれており、毎日でも入浴可能な状況にある。檜の個浴が有り、自宅での入浴を感じさせ、リラックス効果が得られる環境である。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者・家族からの意向、情報を得、又、行動や言動の理解により、男女問わず、手芸等の趣味活動、ゴミ捨ての役割り等の支援が提供され、生き生きとした生活が送れている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>心身の状況や天候に応じ、散歩に出掛けたり、ドライブや買い物等の支援がされている。体力的な制限がある利用者も、敷地内にある日本庭園の散策を楽しんでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	虐待防止同様、月1回開催される法人の委員会への参加や研修等にて禁止行為の把握・理解を深め、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠はしていないが、外出のリスクが高い利用者も入居しており、認知症の特性を考慮し、玄関ドアに違和感の無いようなベルを設置し、対策を講じている。法人と棟続きという利便性も最大限に活用し、開放感が得られている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人合同の避難訓練の他にも、ホーム単独の訓練が実施されている。地域の消防署や住民の協力も得られており、消火器の扱い方の実践訓練、非常用食料の確保も出来ている。運営推進会議、その他会議での報告もされている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士と連携を図りながら、残食・食事摂取量の確認をし、栄養、水分の確保がされている。画一的な支援では無く、代替え食の提供、嗜好や習慣等を考慮しながらの支援がされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルの整備や研修、法人の委員会への参加等の取り組みがされている。委員会参加時は保健所からの最新情報が共有され、早急な対策を講じている。家族からは、インフルエンザ予防接種の了承も得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>吹き抜けの天井で天窓があり、十分な採光があり、ログハウス風の広いリビングである。ソファーや畳、ダイニングルームと、目的や好みに応じた対応が出来る環境にある。又、廊下の一角には落ち着ける空間も確保されている。窓からは日本庭園の四季の移り変わりも楽しめる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や家族の写真の持ち込み等、個性的で、その人らしさが表現された居室が提供されている。</p>		

 は、重点項目。